

2008年12月15日発行(毎月2回1日・15日発行)第12巻23号(通巻255号)
1997年3月10日第3種郵便物認可

pen

with New Attitude

12/15

2008 No.255

特別定価 550
yen

世界10都市から緊急リポート!

いま見逃せないアーティストは誰か?

現代アート最新MAP

視点とアイデアが面白い
新発想のアンティーク店。



世界10都市から緊急レポート!

いま見逃せないアーティストは誰か?

現代アート 最新MAP

🇺🇸 ニューヨーク NEW YORK

荒れ果てた工業地帯が、いまや若き才能の宝庫に。

ICP(国際写真センター)を経て、3年前にダンボ・アートセンターのディレクターに就任したブレダ・ケネディ。



世界のキュレーターが集う、ダンボの求心力。

08年9月、ダンボ・アートセンター主催のフェスティバルの出品作から。上: マシュー・キリアンのインスタレーション。右: 日本人アーティスト、ナンによる電球を使ったオブジェ。



Empire Fulton Ferry State Park Natsu, The Lost State, Empire Fulton Ferry State Park

DUMBO ARTS CENTER
ダンボ・アートセンター
●30 Washington Street
Brooklyn, NY 11201
☎(+1)718-694-0831
📍YORK STREET
🕒12時~18時 (※月、火)
www.dumboartscenter.org



すぐそばにマンハッタン橋が見えるギャラリースペースは、最高のロケーションだ。



サラ・ベディングトンの展覧会の様子。曇りガラスに透かし文字でメッセージを描き、窓からの外光を受けて、文字が読めるようにディスプレイした。

毎年9月に行われる「ダンボ・アートフェスティバル」は、世界中のアーティストやキュレーターが集まるイベント。3日間にわたってダンボ地域のあちこちに作品が展示され、来場者数は10万人を超える大きな催しだ。

このイベントを取り仕切っているのが非営利組織の「ダンボ・アートセンター」だ。フェスティバルが始まったのは1997年。地元のアトリエを構える若いアーティストたちが、自由に作品を発表できる場を作ろうと結束したことに端を発する。

「アーティストにとって、ことに屋外での展示は魅力的。美術館では触れることのできない作品も、より近くで感じてもらえるから」と、ディレクターのブレダ・ケネディ。作品は年間通して公募しており、2008年は24カ国、34人のアーティストが選ばれた。

現在、アートセンターではフェスティバルの運営以外に、ギャラリースペースにて3カ月周期で若手アーティストの展示を行ったり、教育関連のプログラムを実施したりと活動を広げている。この地域の若手アーティスト育成機関として、すっかり定着した。

「ご多分に漏れず、文化的成熟と引き換えに、ここダンボでも土地の高騰が起き、より安いエリアを求めて出て行ったアーティストもいる。しかし、若い才能を求めるキュレーターが集まってくるこの街が、ニューヨークのアートシーンを語る上で欠かせない地域となったことは確かだ。」